

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	県立農業大学校農業総合研修センター 及び宮崎県農業科学公園
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	農政水産部農業経営支援課農業担い手対策室

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
研修実績(延べ人数)	15,195	15,870	20,716	みやざき農業実践塾の研修生が前年度に比べ少なかったこと等により研修実績が減少した。 7月に高校生宿泊が多かったこと等により宿泊者数が増加。農業科学公園についても誘致イベントの開催等により入園者が増加した。 農業科学館については、展示物の固定化等により入館者が減少しているものと考えられる。
研修宿泊者数(延べ人数)	1,966	1,738	1,644	
農業科学公園入園者数	186,559	166,892	178,491	
農業科学館入館者数	27,637	30,768	32,013	
コメント	農業科学館の入館者が近年減少しており、魅力向上のための検討を行う必要がある。農業科学公園の利用拡大に向けた屋外イベントの誘致や、農業への理解を深めるための農業体験の休日受け入れなどの取組は評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	66,503	65,294	63,271	人件費	47,763	49,038	44,945
利用料金	1,120	1,181	1,141	光熱水費	11,454	10,845	10,907
生産物売払収入	17,107	18,902	18,664	事務費	8,894	10,931	11,881
その他収入	18	38	47	その他	16,614	14,582	14,844
合計(①)	84,748	85,415	83,123	合計(②)	84,725	85,396	82,577
収支差額(①-②)	23	19	546				
コメント	効率的な運用や費用の削減努力により、安定的な運営を行っており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	研修センター事務室の日常清掃及び年1回の床面ワックスがけ、農業科学館・管理棟・ふれあい館・物産館・フラワーハウスの床面及び窓ガラス清掃、農業科学館雨樋清掃 等
	保守・点検	浴槽水質検査(年3回)、貯湯槽(年1回)、重油地下貯蔵タンク(年1回)、公園の除草・芝刈り(年6回以上)、高木の枝剪定、ビニールハウス自動開閉装置動作点検(年1回)、環境制御システム動作点検(年1回)、ハウス用加湿機動作確認等(年1回)、ウォーターランド保守管理 等
	警備	(県立農業大学校による警備)
	修繕	公園遊具、給排水設備、事務所建具 等
	備品等管理	農業機械(トラクター、運搬車)部品交換・修理 等
	安全対策	危機管理マニュアルの整備、消防訓練の実施、土日祝日の公園職員複数勤務体制、公園遊具点検(年1回)、浴室、浴槽等衛生管理マニュアルの整備、レジオネラ属菌汚染防止対策講習会への参加、新型コロナウイルス感染拡大防止のための清掃・消毒の強化
	その他	公園全体の植栽管理(芝生、花壇、樹木等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート、農業総合研修センターの休日利用や農業体験休日受入への対応
	イベント等ソフト面充実	主催研修・イベントの充実(ハロウィン・カボチャ祭の新規開催(H28~))、ホームページ・facebookによるPR、農業科学公園ルピナス通信発行 等
	施設設備等ハード面充実	県によるみやざき農業実践塾ハウスを4棟増設(H26)、指定管理者による未利用地の解消とその有効活用
	その他	—
管理運営体制	緊急連絡網の整備	
コメント	みやざき農業実践塾の運営など精力的に取り組んでおり、就農者の確保につなげている。また、公園の植栽についても季節ごとに適切に管理がなされている。新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策(清掃・消毒の強化、3つの密を回避するための工夫)についても対応いただいている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(リカレント研修受講者に9回実施(回答224人)、宿泊利用者に5回実施(回答178人))	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
清潔で浴室が広い。和室も広く団体が宿泊しやすい。	今後も清掃等を徹底し、利用者が使いやすい施設管理に努める。	
宿泊室のドアの棧が曲がっていて、ドアの建付けが悪かった。	不具合の箇所を点検し、修繕を行った。	
研修内容は良かったが、少し話が速く、資料の画像が小さくて見にくかったことが残念だった。	講師との打合せを通じて、適切な研修内容(質・量・資料)に努める。	

5 総合評価

評価コメント	指定管理通算5年目であり、安定的な運営がなされ、また、農業の普及啓発、新規就農者の育成も精力的に行っている。新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策や利用者への情報提供も適切に行われている。
今後の課題と対応	施設や農業用機械等の老朽化が進んでいることから、引き続き安全対策を行う。農業科学館の入館者増加に向けた取組の検討を行う必要がある。